



あけましておめでとうござります

2014年元日

教育ひょうご

発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10-8
兵庫県教職員組合
発行人 兵庫県教職員組合 代表者 泉 雄一郎
編集人 池田 啓子
電話 050(3538)2346
1部7円 年定価280円
(組合員の購読料は組合費の中に含む)

2014/1・1
No. 1850

新年号

兵庫県学校厚生会写真公募展入選作品「ピカッ!クル!にこっ!」 藤本 奈穂さん(篠山市立城東小学校)撮影

兵庫県教職員組合の皆様、新年あけましておめでとうございます。昨年10月、日教組がこの間校舎建設等に支援してきたアフガニスタンからお客様を迎えました。長い戦乱に苦しみ、現時点でも小学校の就学率52パーセント



日本教職員組合 中央執行委員長 加藤 良輔

21世紀を迎え、世界に紛争とテロが拡散していった背景には、国家間の経済格差があります。紛争とテロの背後には子どもたちから未来を奪い、子どもたちの学ぶ環境を閉ざしてきた国際政治の貧困があります。

日本が国内外において、その支援に全力を挙げるところこそ真の「積極的平和主義」です。私たちは教育という営みを通して平和な民主社会、平和な国際社会づくりに貢献していきます。日教組の旗の下、ともにがんばりましょう。

子どもたちの未来を切り開く 真の「積極的平和主義」を!

平和への希望は武器や軍事力が紡ぐものではありません。社会基盤の整備や何より教育基盤が整備され、子どもたちの未来が教育によって切り開かれるからこそ、平和への展望が広がるのです。

兵庫県教職員組合 執行委員長 泉雄一郎
2014年の年頭にあたり、兵庫県教職員組合本部執行部を代表し、組合員・



「いきるつながるみちひろく」をキーワードに 職場における教育研究活動を充実し、実践を語り継いでいこう!

ご家族の皆様にごあいさつを申し上げます。昨年、神戸市で開催した第63次兵庫県教育研究会の参加者からこんな声がありました。「保護者として初めて参加し、感動することが多かった。先生方の子どもに対して向き合う姿勢に心から感謝を申し上げたい」

教育研究会を「外に開く」。地域に開かれた教育研究会ならではの声だと思えます。「教育フェスティバル」として開催してきた成果が表れてきているのだと思えます。

また、こんな声もありました。「我々の世代(ベテラン層)は自主研修などによって鍛えられたけれども、そうした活動が今の若い教職員にはなじみのないものになってはいないか。教育研究活動をどんどん宣伝してほしい」

「リポーター」の先進的などりくみ、また共同研究者からの話を聞き、自校の

とりくみの遅れが見えてきた。これから少しずつ前進していきたい」「個人ではなく学校としてとりくんでいく実践リポートが多く、とても参考になった」

教育研究会を「内」に開く。そのためには職場教育の充実と実践の語り継ぎ・継承が必要です。兵庫の教育研究活動は、職場教

中での職場教研はどうなっているのでしょうか。組織的・集団的な教育研究がなされているのでしょうか。学校の研究内容と職場の自主的・主体的教育研究を同様、もしくは表裏一体としていくことも大切なことではないでしょうか。

同時に、実践を語り継ぎ、継承していく青年部教育実践講座を全地区・支部ですすめ、実り多いものとしていきたいと思います。

そして、フィンランド・OECDとの教育交流で学んだ国際的に重要視されている「学んだことを応用し生かしていくスキル」「人間関係の調整力や形成力」

「自ら行動し生涯にわたって社会に貢献できる人間の育成」を大切にしながら、子どもたちを育んでいきたいと思います。

阪神・淡路大震災19年 追悼の夕べ

1月17日(金)17時30分から、ラッセホールで「阪神・淡路大震災19年 児童・生徒、教職員追悼の夕べ」が開催されます。兵教組はこれまで、震災で犠牲となった児童・生徒、教職員の方々のご冥福をお祈りするとともに、震災の教訓に学ぶ教育創造をめざす決意を新たにすため、追悼式・追悼の夕べを開催してきました。



昨年度の追悼の夕べ

追悼の夕べ

また、東日本大震災から2年9ヶ月余りが経過した現在も、復興・再生が十分にすすんでいない被災地の状況や、避難生活を余儀なくされている方々の存在を忘れることはできません。今後、被災地の教育の創造的復興にむけ、兵庫だからこその継続した支援にとりくむとともに、防災文化の創造と防災教育の充実をはかるために、広く発信し続けていきます。

追悼の歌として、東日本の被災地でも歌い継がれている「しあわせ運べるように」などを歌います。また、「阪神・淡路大震災の教訓の継承」について、ひょうご防災特別推進員にお話をいただきます。教育総研及びびろ手・宮城・福島の教職員組合代表も参加されます。

「いきるつながるみちひろく」をキーワードに 職場における教育研究活動を充実し、実践を語り継いでいこう!

運動の基盤は組織力であり財政力です。新年度も新規採用教職員を中心に兵教組加入促進のとりくみをすすみましょう。

本年も、どうぞよろしく お願い申し上げます。

第63次県教研 (ひょうご教育フェスティバル)

記念講演 (要旨)

「人に優しい地域づくり、街づくり」

バリアフリーコンサルタント 鈴木ひとみさん



突きつけられた現実と 希望の手紙

私は29年前に交通事故に遭って、車椅子の生活となった。怪我なから必ず良くなるだろうと漠然と考えていたが、2週間後主治医に「多分君の足は動かないだろう」と言われた。初めはただ信じられなかったが、日が経つにつれて、自分が置かれた現実から目を背けることができなくなっていた。こんな体で生きていくも仕方がない。そう思い毎日を通して、ごすようになつた。



しかし、事故から3ヶ月後、今の夫である当時の恋人から手紙をもらった。「とりあえず5年、いや3年でもいいから頑張つてみようよ。もしそれでもがんばれなくなったら、生きることに疲れたら、その時は一緒に死ねばいい」。病室のベッドの中で繰り返して手紙を読んで、私はこれ生きていけると思えるようになった。

年でもいいから頑張つてみようよ。もしそれでもがんばれなくなったら、生きることに疲れたら、その時は一緒に死ねばいい。病室のベッドの中で繰り返して手紙を読んで、私はこれ生きていけると思えるようになった。

本当のバリアフリーとは



車椅子に乗る人にとって一番気がかりなのは車椅子のトイレだ。最近も増えつつあるが、よく鍵がかかっていたりする。そこに住み着く人がいるからという理由で理解できるが、お金をかけてつくったものが、使いたいときに使えないのでは意味がない。開閉システムにしても、歩ける人だけで考えているのだから。アメリカにも車椅子トイレはあるが、車椅子「専用」ではなく「優先」という考え方で、二回りぐらい広い空間に手すりがついている。一般の人でも使えるので、人が住み付くこともない。

この世の中には、障害者というグループと健常者というグループがあるわけではないということをお分かっていただけたと思う。私のことでは、今日ここに来られたすべての女性の中で、腕の力は1、2番かもしれない。でも歩くことはできない。ある部分では優れているけれども、ある部分では劣っている。だから、障害者と健常者の線引きはできない。身体が不自由になつてしまつたら、元のようには生きられないかもしれない。しかし、残された身体の機能で、今までの生活が維持できる可能性がある。最大限の努力をして社会に貢献すべきだ。私は障害を持つ以前よりもっと成長した生き方がしたい。堂々と生きていきたい。皆さんも元気で、積極的に生きていって欲しいと願っている。

最大限の努力をし 積極的に生きる

カムバックセミナー

育児休業中の組合員に情報提供



12月5日と12日、教職員共済生活協同組合兵庫県事業所は、兵教組と共催で「カムバックセミナー」を初めて開催した。現場復帰を控える育児休業中の組合員が対象。子ども連れでも参加しやすいように託児室も設けられ、神戸と姫路の2会場で、延べ52人が参加した。久しぶりに現場へ戻る教職員は不安は小さくない。復帰をバックアップするために、さまざまな情報を提供する3つの講座が開かれた。

講座I

教職員共済生活協本部から、「子育て世代の貯蓄と保障」と題して、将来必要となる子どもの教育費や病気等への備えについて、実際にかかる費用を例示しながら詳しい説明があった。

講座II

兵教組の釜口女性部長が、これまでの運動で勝ち取ってきた権利である、育児のための勤務・休暇・休業制度や、事前調査で質問の多かった離職・再採用制度等を紹介。「権利は行使することによって守られ、たまたかうことによって拡大する」と制度の利用を呼びかけた。

講座III

参加者からは、「改めて組合活動の大切さ・ありがたさがわかった」という感想があった。参加者からは、「改めて組合活動の大切さ・ありがたさがわかった」という感想があった。参加者からは、「改めて組合活動の大切さ・ありがたさがわかった」という感想があった。

たつの市議選挙

三木浩一さんを推薦決定

兵教組は、昨年12月10日におこなわれた第257回中央委員会、4月27日執行予定のたつの市議会議員選挙において、三木浩一(みきこういち)さんの推薦を満場一致で可決決定した。

教員経験32年 2期目をたたかう

三木浩一さんは、78年より長尾南小(宝塚市)、揖保小、小宅小、石海小、越部小と32年間教壇に立った。兵教組では掛籠支部の書記長や、西播地区の専従役員、05年からは支部長を3年間務め、子どもたちの豊かな教育環境と、教職員の労働条件を守るための活動に取り組んだ。09年に初当選を果たした。

お正月ファミリーパズル

右と左の絵をよく見くらべると、違っているところが10ヶ所あります。印刷のヨゴレやカスレは含みません。では、スタート。

どちらかの絵に「10ヶ所」赤丸を入れ、切り取ってがきに貼って送ってください。お名前、年齢、支部、住所(郵便番号も)を明記の上、ご応募ください。また、本紙の感想などもお寄せください。20名様に粗品を差し上げます。

締め切りは1月30日(消印有効) / あて先: 〒650-0004神戸市中央区中山手通4-10-8 ラッセホール4F「教育ひょうご編集部」まで

まちがい探し!

パズル制作: ひろみよこ



ふじい訓博 (県会議員) 北区



つじ泰弘 (前参議院議員)



みずおか俊一 (参議院議員)



北野さと子 (宝塚市会議員)



川上八郎 (伊丹市会議員)



岩下あきら (西宮市会議員)



さきもと祐治 (神戸市会議員) 須磨区



掛水すみえ (県会議員) 西宮市



もりかみ祐治 (南あわじ市会議員)



三木浩一 (たつの市会議員)



おなか利治 (明石市会議員)



ひわだ充 (三田市会議員)



つだ加代子 (川西市会議員)

あけましておめでとうございます

日頃のご支援に感謝申しあげます。今後も仲間とともに懸命の努力を続けてまいります。変わらぬご厚情をお願いいたします。

兵政連(議員団)一同